

## 【高校生の部】アクション・レポート部門 未来賞

### 「はっきりと聞こえる自然の音」

北海道士幌高等学校2年 紺野 優香

目を閉じると、心地よい風が吹き、様々な鳥のさえずりが聞こえてくる。小さな頃から病気で左耳が聞こえにくい私でも不思議と落ち着く。十勝の農業を支える防風林の中だ。春は、発芽した苗を十勝風と呼ばれる突風から防ぎ、夏には、生き物の生息地域へ。秋には収穫後の表土を強風から防ぎ、冬には、吹きだまりから地域を守る。この農業地域に欠かせないのが、防風林です。

私が通う士幌町は、全国でも有数の農業地帯です。私の姉が士幌高校へ通っていたため、姉の楽しそうな高校生活を聞くたびに「私も行きたい」と思うようになり、士幌高校へ進学しました。士幌高校に通うのが楽しいです。士幌高校に入学するまで、暗い生活でした。

小学校の児童会に立候補し、演説当日、緊張のあまり、学校を欠席してしまいました。「今の自分を認めてくれるのか、ここにいて良いのか。」ここから学校から足が遠退くようになりました。中学校に進学しても1・2年生は、ほとんど行きませんでした。3年生は、進路活動があるため、少し学校へ。進路活動の時、姉から「中学校の成績は関係ない。高校は楽しいよ。」と言われ、少しずつ気持ち楽になってきました。

高校に入学後、農業の実習を通して友人から声をかけられ、緊張が少しずつ和らいでいきました。1年生では、班ごとの活動となり、農業と環境の関わりを学びました。カボチャ栽培を通して農業の基礎学習を学び、意外だったのが、農作物の生産工程には、プラスチックが関わっていることでした。カボチャを播種するときのポリポット。苗を育成するためのハウスビニール。肥料が入っているビニール袋。定植するとき使用するマルチビニール。1つの作物を栽培するのに、全ての工程でプラスチックが関係しています。実習に一所懸命取り組むことで、立派なカボチャが収穫できました。収穫後は、カボチャの蔓を取り除き、マルチを外します。先生から「取り残しの無いように・・・、マルチは分解されないの、全て取り除きましょう。」友人と協力しながら、丁寧に外しました。分解されないマルチは、圃場に残り、作物の根の伸長を阻害します。ここから農業と環境の関わりについて深く学びたいと思うようになりました。

2年生からのプロジェクト活動では、地域環境について学んでいます。十勝地域は、開拓時期から農業の発展が進むとともに、森林が減少していきました。そこで、農業と環境の調和を目指すため、防風林が減少している課題について取り組んでいます。防風林の風速調査や落葉を用いた生育調査、昆虫相調査などを通して、農業と環境が密接に関わっていることを学んでいます。

これらの経験から3つの意見をもち活動し、そして共感する多くの仲間を作っていきたいです。

1つ目は、自然環境に対して身近な所から意識し行動しましょう。当たり前かもしれませんが、ゴミの分別や不要なレジ袋、コンビニの箸をもらわないなど、一人一人が意識した行動をしていきましょう。農業では、生分解性マルチや自然由来の稲わらマルチを使用するのはどうでしょうか。少しの

行動が、農業と環境が調和していくきっかけになると思います。

2 つ目は、地域農業が今後も継続していくために、防風林の重要性を伝えていきたいです。機械化により GPS トラクタの電波状況や落ちた枝による耕耘作業の邪魔になるなど課題は多いです。しかし、メリットも多く発表されています。私の班の活動では、風速調査により、防風効果及び圃場の生育状況が良好になる研究結果となりました。防風林の防風効果による地温上昇が要因となっています。また、防風林からの落葉によって農作物の生育状況に違いがあることも分かりました。そして、防風林の樹種の違いによって昆虫の生息域が異なります。そのため、農作物の害虫を駆除してくれる昆虫がいるのではと研究を進めています。

丹精込めた農作物の土台には畑があり、土があります。毎年十勝風と呼ばれる突風により、畑の表土が、飛ばされてしまいます。毎年飛ばされたらどうでしょうか。現在の収益性や利便性も重要です。さらに地域を持続させるために防風林が必要です。そのため、今後も防風林の重要性を伝えていきたいです。

3 つ目は、持続可能な地域を作ることです。まずは身近なところ、次に農業。様々な産業が連携し、持続可能な地域を作っていきます。持続可能な地域にはまず自然環境が土台としてあると考えています。そのため、持続可能な地域をつくるため、今後もプロジェクト活動などを通して地域を PR していきたいです。今年度は、私たちの活動の PR 動画を作成し、地域の環境フォーラムで発表する予定です。

毎年、環境問題についてテレビで見ます。その度、「やらくちや」と思っていました。しかし、時が経つと「あー宿題やらくちや」「部活動やらくちや」「意気終わったのに技競・・・」「バイト・・・」去年のやらくちやはどこへ。いろんなやらくちやにぜひ、環境やらくちやを加えてください。私たちが学ぶ農業は自然や環境あってこそ成長してきました。農業の土台である自然環境を一緒に守っていきましょう。

様々な要因で自然環境が失われます。私と同じように少しの原因で暗くなる場合もあります。数年後、目を閉じると、畑の土が舞い、動植物の住処はどこへ・・・。なんて地域もすぐそこに迫っています。今ある十勝の自然。農業とともに発展した地域をこれからも持続させる。

耳が聞こえにくい私にも、聞こえてくる。十勝の自然の音が・・・。皆さんはどうですか。

カシワ苗



ピットフォール  
トラップ



距離計  
防風林の高さ

